

会 議 録

会議の名称	令和5年度飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	令和5年12月11日（月） 10:00～11:30
開催場所	飯塚市役所 1階多目的ホール
出席委員	13名（坂本委員、伊佐委員、浅田委員、大塚委員、吉良委員、櫻木委員、白瀧委員、高岡委員、中垣委員、長谷部委員、藤中委員、松尾委員、宮田委員）
欠席委員	4名（高岡委員、友松委員、松原委員、山田委員）
市職員	福祉部長（長尾）、社会・障がい者福祉課長（森山）、同課長補佐（室屋）、同社会福祉係長（大塚）、同係員（山田）、人権・同和政策課長（上野）、男女共同参画推進課長（永野）、まちづくり推進課長（吉原）、地域公共交通対策課長（松村）、市民活動支援課長（橋本）、子育て支援課長（斎藤）、高齢介護課長（村上）、生活支援課長（内田）
会議内容	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉部長あいさつ ○委員紹介 ○事務局及び関係課職員紹介 ○会長、副会長の互選 坂本委員が会長に、伊佐委員が副会長に選出された。 <p>2 議事</p> <p>議題1：第2期飯塚市地域福祉計画の令和4年度推進状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公助（行政）の取り組み状況調査結果【資料1】 (2) 共助の取り組み状況調査結果【資料2】 (3) 公助、共助の取り組みにおける課題【資料3】 (4) 事前質問に対する回答【資料4】 <p>○事務局より、資料1・2・3・4を用いて説明</p>

【委員からの意見、質疑応答】

[委員]

【資料 1】 1 ページの No. 3 「市職員に対する研修実施による意識向上」について、非正規職員を含むと考えてよいか。また、令和 3 年度に比べて令和 4 年度の受講人数が減っている理由は何か。

[事務局]

非正規職員を含む全職員である。また、人数は延べ人数であり、令和 3 年度の研修件数が多かったため、令和 4 年度の受講人数が減少しているが、受講者割合で見ると高くなっている。

[委員]

飯塚市協働のまちづくり推進条例ができたが、市民活動団体と市の連携はできているのか。

[まちづくり推進課]

飯塚市協働のまちづくり推進条例は、地域活動団体や市民団体の支援を行っている。市民参画が前提である条例であるため、広く周知するとともに、各種イベントで自治会加入促進を行い、地域に入って説明を行いながら、地域づくり、自治会加入向上につながればと思っている。現在のところ、コロナ禍明けで今年からイベントが復活していく、条例を広めるとともに、自治会加入についても積極的に取り組んでいく。

[委員]

認知症サポーター養成講座について、参加しても活かせる場がない。自治会でサポーターがいる認識があれば関わっていきやすくなる。

[会長]

全国的な課題。自主的に組織化して地域で動いていくことがもともとの制度設計である。社協と連携し、ボランティアセンターの紹介を受け取り組んでいただければ。

[委員]

13 のまち協で自主防災組織が出来ていると思う。

自治会が実際に動いて必要と思っているならば、市から呼びかけていかないといけないのではないか。

[副会長]

自治会長会で防災意識持って自治会で避難場所関係等やってほしいと市から依頼があるのか。

[委員]

自治連合会ではないが、各自治会に防災リーダーがいるので、みんなある程度分かっている。水害や土砂崩れの危険があるところはしっかりされている。

[委員]

福祉避難所は大事な場所であるが、コロナ禍で実施が難しかったかも知れないが、何とかできる方法にもっていかないといけない。実際に災害が起こった時に何をすべきかわからないというような事業所がないようにしないといけない。

[委員]

庁内連携体制の組織、地域から挙がってきた問題を精査する体制はあるのか。

[高齢介護課]

地域の見守りを自治会、まち協、民生委員・福祉委員等に協力いただいている。地域で心配な人がいるとの情報が入ってきた際は、関係課（生活支援課、子育て支援課、社会・障がい者福祉課等）と連携している。関係部署が変わってくるので、内容に応じて連携先を変えている。

[委員]

介護相談員について、どんな資格が必要か。

[高齢介護課]

市に登録されている相談員は11名いる。資格は不要だが、面接や研修を受けてもらうことになる。

[委員]

資料4のNo.23に「事故が起こった時」とあるが、法的に整備できれば、地域でも進んで送迎できると思う。

[委員]

ボランティア保険に入ってもらい、何かあった時に対応できるようにしてはどうか。

[委員]

民生委員のなり手がいない件、もう少し環境づくりをやっていけないか。

	<p>[委員]</p> <p>民生委員は自治会長の推薦が必要だが、自治会長が活動内容を分かっていないことが多いため、自治会長や役員にいきいきサロンに参加してもらい、地域の人との交流を持ってもらうよう、要請している。</p> <p>民生委員は、自治会加入者以・未加入者関係なくみる必要がある。民生委員活動も地域の活動なので、自治会にも理解してもらった方が民生委員も活動しやすくなるのではないか。</p> <p>高齢で交代したい人もいると思う。婦人会や青年部など地域の中で交流して民生委員・福祉委員を発掘していく行動をしている。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飯塚市地域福祉推進協議会次第 ・ 【資料1】 公助（行政）の取り組み状況一覧表 ・ 【資料2】 共助の取り組み状況一覧表 ・ 【資料3】 公助、共助の取り組みにおける課題 ・ 【資料4】 事前質問に対する回答
<p>公開・非公開 の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 なし)</p>
<p>その他</p>	